

聴覚支援センターでは、次のような相談・支援に応じます

相談・支援の対象

- ①聴覚に障がいのある乳幼児・児童・生徒とその保護者
- ②保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・支援学校の先生

【通学区域】

(幼稚部・小学部・中学部)

大阪市・守口市

(高等部・専攻科)

大阪府全域

教員研修・理解授業支援

本校教員が学校園に訪問し、教員研修や理解授業支援を行います。理解授業支援にあたっては、支援依頼の内容を十分に吟味したうえで、共同して授業計画を立案し、効果的な指導に結びつくよう相談・支援を行います。



早期教育相談

0～2歳児を対象に、集団遊びや個別相談を通して支援を行います。

子どもと保護者のふれあいを大切にして、一人ひとりのきこえや発達に応じた話しかけ、関わり方について支援します。



通級指導教室

通常の学級に在籍する聴覚に障がいのある児童・生徒が、学校生活を円滑に過ごせるようにさまざまな指導・支援を行います。

子どもたちの実態に合わせ、きこえ、発音・発語、ことば・コミュニケーション、自己理解などの学習を進めていきます。

保護者や在籍校と連携しながら、適切な支援をしていきます。

学校園への支援

支援学級相談

特別支援学級に在籍する児童・生徒に関わる教員に対し、在籍校での配慮事項・自立活動などについて、相談・支援を行います。

相談内容

- 「聴覚障がいのある児童・生徒がいるクラスの授業参観・配慮についての懇談」
- 「きこえ、発音・発語、ことば・コミュニケーション、自己理解などの学習方法」
- 「個別の指導計画の書き方」

親子関係づくりの支援

親子遊び（手遊び・音遊び・体操など）

言語獲得・概念形成の支援

絵本読みきかせ、製作、季節の行事への参加

情報や知識の提供

聴能学習会（きこえの基礎知識、福祉制度など）

保護者学習会（手話の紹介など）、

保護者交流会、公開保育、書籍の紹介

補聴相談

きこえに関する相談・支援を医療機関と連携して行います。

- 聴力測定
- 補聴器・人工内耳装用時のきこえの評価
聴覚活用の状況把握と聴能学習
- 補聴器・人工内耳・補聴援助機器に関する相談
- 合理的配慮や福祉制度に関する情報提供



教員研修の主な内容

- 「擬似難聴体験」
- 「きこえと補聴器」
- 「きこえにくい子どもへの指導の実際」

理解授業支援の主な内容

- 「聾学校の子どもたちやきこえにくい人たちの生活」
- 「聴覚障がいのある先生との交流」
- 「きこえにくさの体験」
- 「指文字・手話の体験」

各種研修会

教職員を対象に「聴覚障がいのある幼児・児童・生徒の担当教員研修会」「養護教諭セミナー」「みみネットアカデミー」などの研修会を実施しています。



各種研修会（例）

- 「地域の学校で育った聴覚障がいのある教員の思い」
- 「きこえや補聴器について」
- 「耳鼻科医による講義」